

企業年金基金ってなに？

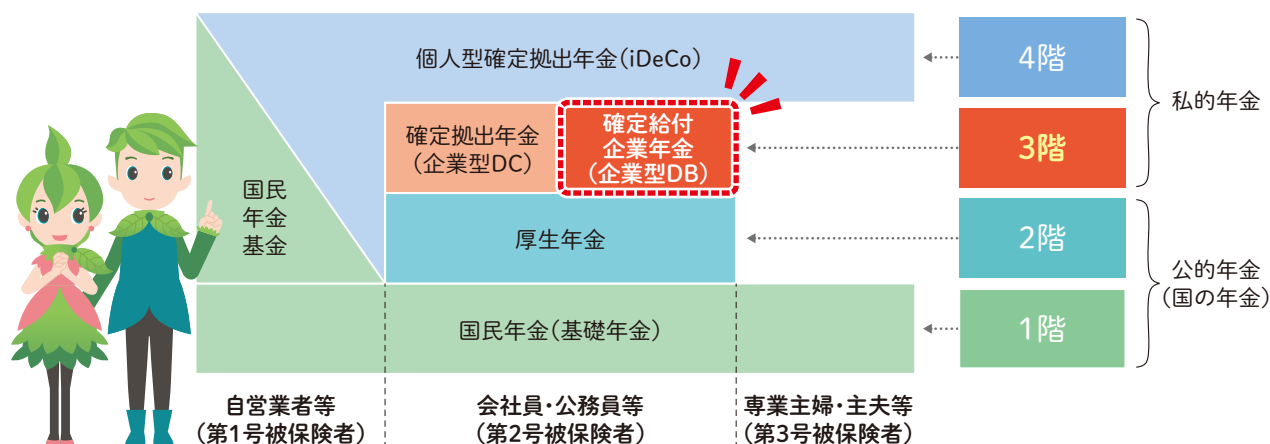


老後の収入源は、主に公的年金(国の年金)がベースになりますが、少子高齢化によるスリム化も見込まれており、それだけでは十分でない可能性もあります。

みなさんは、公的年金に上乗せしてジェイテクト企業年金基金にも加入しています。ここでは、企業年金についての基礎的なしくみを解説します。

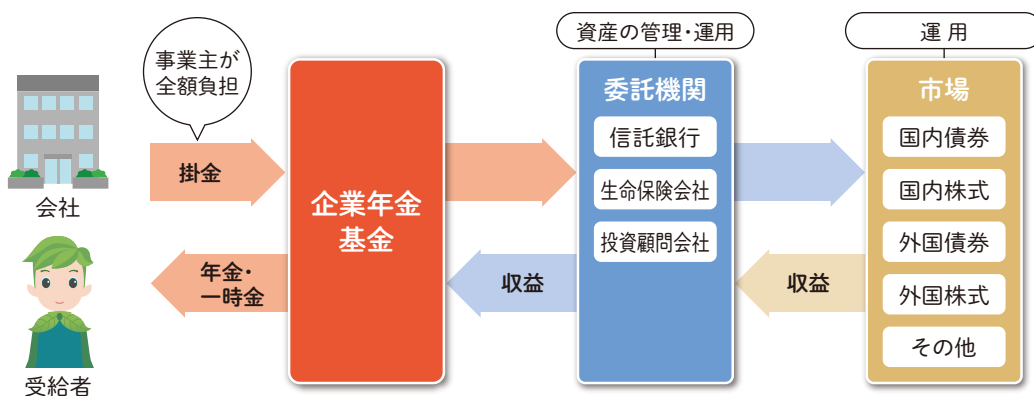
ジェイテクト企業年金基金は年金制度の「3階部分」

日本の年金制度には、加入が義務付けられている公的年金(国民年金・厚生年金)と、公的年金に上乗せして掛金を積み立てることができる私的年金があります。また私的年金は個人で加入する個人年金と、企業が加入する企業年金に分けられ、ジェイテクト企業年金基金はこの企業年金のなかの「確定給付企業年金(企業型DB)」に分類されます。



財源は事業主が全額負担

公的年金は、事業主と被保険者が2分の1ずつ保険料を負担していますが、基金の掛金は全額事業主が負担しています。加入者(=受給者)の負担はありません。

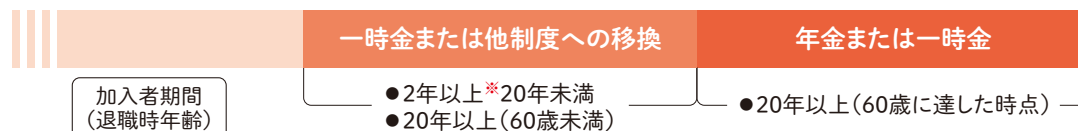


2年以上[※]の加入で基金独自の給付を受けることができます

基金の給付は、加入者期間および退職時年齢によって受けられる給付内容(年金・一時金)が変わります。

加入者期間が2年以上[※]20年未満の方、または60歳未満で加入者期間が20年以上の方は、一時金での受取または他制度への移換が可能です。60歳に達した時点で加入者期間が20年以上の方は、年金または一時金での受取が可能です。

【イメージ】



[※]一部の事業所では3年以上